

船舶インシデント調査報告書

平成29年6月22日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（燃料供給不能）
発生日時	平成28年10月9日 09時10分ごろ
発生場所	千葉県館山市北条海岸西方沖 館山港防波堤灯台から真方位335° 850m付近 （概位 北緯34° 59.7′ 東経139° 50.6′）
インシデントの概要	プレジャーボート ^{しおその} 汐園は、帰航中、主機の運転ができなくなり、運航不能となった。
インシデント調査の経過	平成28年10月11日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート 汐園、5トン未満（長さ7.94m） 232-09491千葉、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 西、風力 2、視界 良好 海象：波高 約2.0m
インシデントの経過等	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、知人4人を乗せ、館山市北条海岸西方沖で漂流して釣りを始めた後、時化^{しげ}てきたので館山港に帰航中、主機が停止した。</p> <p>船長は、主機は始動するものの、主機の燃料運転ができず、燃料油が供給されていないことを確認した。</p> <p>船長は、パラシュート型シーアンカーを投入したものの、風によって船体に引っ掛かり、同シーアンカーが破損し、本船が風浪等によって流され始めたので118番に通報した。</p> <p>本船は、北条海岸に打ち上げられた。</p> <p>主機の燃料油こし器は、開放掃除が約2年間実施されていなかった。</p>
分析	<p>本船は、主機に燃料油が供給されなくなったことから、主機の運転ができなくなり、運航不能となったものと考えられる。</p> <p>主機の燃料油こし器は、開放掃除が約2年間実施されていなかったことから、スラッジ等が堆積して閉塞し、主機に燃料油が供給されなくなった可能性があると考えられる。</p>
原因	本インシデントは、本船が、主機に燃料油が供給されなくなったため、主機の運転ができなくなったことにより発生したものと考えられ

	る。
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 燃料油こし器は、機関取扱説明書で定められた整備基準に従って掃除等を実施すること。